

柴村仁『夜宵』例会

・日が暮れてから湖の小島にひっそりとたつ細蟹の市。そこには合法、非合法問わず人間も含めたすべての品が売られているという……

著書について

柴村 仁（しばむら じん）は、日本の女流作家である。近畿生まれ、日本海育ち。蟹座のB型。第10回電撃ゲーム小説大賞金賞を受賞し、受賞作の『我が家のお稲荷さま。』でデビュー。

電撃ゲーム大賞とは？

ライトノベル系の新人賞では最多の応募数を誇っており、第20回（2012年募集開始）の応募総数は6554作品に達した。受賞作品は電撃文庫（一部はメディアワークス文庫）にて出版される。出版社の強みを活かしてメディアミックス的な展開が多いのも特徴の1つである。

夜宵紹介

夜宵さん……バグ、細蟹の市を運営している。事務方トップ。

細蟹さま……市のために機を織る方脚の聖女

織女……細蟹さまの助手 まこと等

赤腹衆……市の治安を一手に担う サザ

マドウジ……間違えて市に来た人間 カンナ等

雪客衆……市に来る客をもてなす ヒチリキ等

うつろなるもの……闇

あさなさな、ゆうなゆな……呪われた双子

感想

まとめ